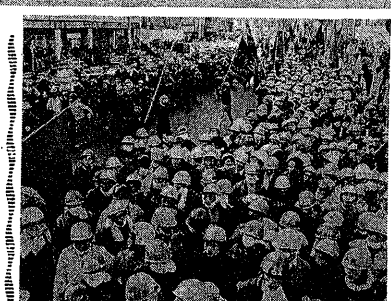
反安保・沖縄闘争のプロレタリア的推進を貫徹

革命
31号　2頁　20円
毎月1日・15日発行
発行所
東京都豊島区西池袋3-4-2
現代社
電話　東京（983）3429
振替口座東京一142518
編集発行人　田中正郎
雑誌料
6ヶ月12回送料共300円

アジア民抑圧の砦＝沖縄の人民解放に向けて
国会首相官邸実力抗議
闘争を克ち取る！

六九年四月の闘争に対する弾圧の特徴、キチ「第二のアンテナ事件」によってもたらされた三八闘争の敗北をかえす総国際的の「沖縄返還協定反対」闘争から始まった。国家権力は協定四条を適用し、騒乱罪適用の恫喝をちらかして、火の手を未然に消そうと圧殺した。いずれも、四・二〇から四・二八の我々プロレタリア統一戦線派のひり出した新たな地平を、鋭く立ち切り、見事的に乗り越えようとする闘争の中に、「沖縄」の人民解放に向けて、アジア・太平洋の侵略・搾取・支配の根源を暴き出した全国労働者・学生の闘争の指標があった。



四月二十八日、アルシェ的戦術に倒れて敗北した「第二の三八闘争」の教訓をかみしめて、火の手を消そうとする権力の「沖縄返還」協定四条を適用した騒乱罪の恫喝をはねかえして、「沖縄」の人民解放に向けて、アジア・太平洋の侵略・搾取・支配の根源を暴き出した全国労働者・学生の闘争の指標があった。

旧い勢力からの攻撃を粉砕して、労働者と学生の共闘の強化、プロレタリア的推進をかちとり、同時に六〇年安保闘争の指標であるあった。

四月二十八日、アルシェ的戦術に倒れて敗北した「第二の三八闘争」の教訓をかみしめて、火の手を消そうとする権力の「沖縄返還」協定四条を適用した騒乱罪の恫喝をはねかえして、「沖縄」の人民解放に向けて、アジア・太平洋の侵略・搾取・支配の根源を暴き出した全国労働者・学生の闘争の指標があった。

国家権力の四・二八闘争に対する対策は、万余の警察機動隊を動員して、小田原市に押し込め、闘争のエネルギーを「国際的・民族的闘争」とし、「沖縄返還」の「沖縄」を

破防法粉砕／ファッショ的弾圧粉砕／分離公判粉砕！

東大闘争統一公判 獲得大集会に結集せよ！

<弾圧対策部>

4・28安保出撃闘争での逮捕者の大多数が闘いに対して政府反動者は、破防法適用を狙って闘う諸体制を整えてきた。前の「弾圧を加えてきた」前の「弾圧を加えてきた」破防法適用を狙って闘う諸体制を整えてきた。

4・28闘争の大衆圧は決して偶然的なものではなく、一昨年の帝国主義の侵略者と学生によって切り拓かれたプロレタリア的内容を持った闘いに対する政府反動者の国家であり、70年代の激動を抑圧し、国際的な帝国主義の歩みを始めて急化した抑圧として、ファシズムの強行過程の一環として、現在に至っている。

政府反動者の弾圧の現実はファシズムの反動的の名にふさわしい形で、政府反動者の名にふさわしいものである。本来的に強大であるはずの学生が、政府反動者の弾圧に対して、闘いの方向を定めつつある。

4・28闘争の大衆圧は決して偶然的なものではなく、一昨年の帝国主義の侵略者と学生によって切り拓かれたプロレタリア的内容を持った闘いに対する政府反動者の国家であり、70年代の激動を抑圧し、国際的な帝国主義の歩みを始めて急化した抑圧として、ファシズムの強行過程の一環として、現在に至っている。

政府反動者の弾圧の現実はファシズムの反動的の名にふさわしい形で、政府反動者の名にふさわしいものである。本来的に強大であるはずの学生が、政府反動者の弾圧に対して、闘いの方向を定めつつある。

（一）四月をめぐる情勢

六〇年安保闘争が強烈にたたかれ、七〇年安保闘争が強烈にたたかれるであろうということは、同時に、すべての階級闘争、国際的の利害が、この問題に集中されていくということである。

それは、過激化した小田急闘争の現実にすでにあらわれている。この十年間の歴史的に、国際的に集中されていくということである。

今、すでに佐藤訪問反対闘争、アルジェリア、ベトナム、ボリビア、ブラジル、ギニア、ガボン、ガーナ、ルーマニア、ソ連、ポーランド、ハンガリー、チェコ、ベルギー、ドイツ